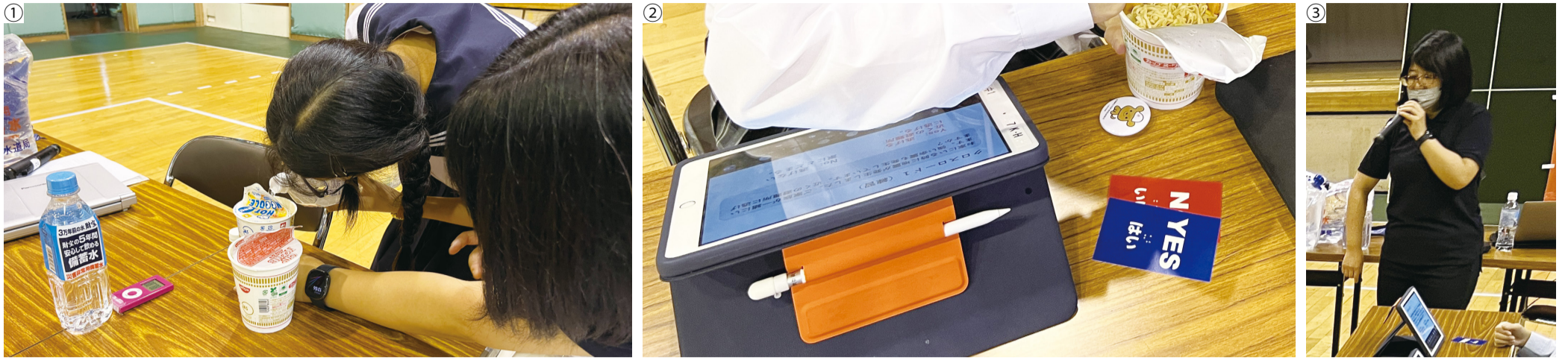


# 災害時の行動を話し合い、考え深める

## 東京・八王子盲学校で防災科学教室



①水でカップラーメン作りに挑戦 ②YESかNO、自分ならどちらのカードを選ぶかな ③講師を務めた、防災科研究員の辻岡綾さん

東京都八王子市にある都立八王子盲学校(安田咲登子校長)で、9月22日に防災科学教室が開かれ、中学部の7人が参加しました。この教室は、国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)と財団が共催する自然災害への備えを学ぶものです。

講師は、防災科研究員の辻岡綾さん(災害過程研究部門)です。辻岡さんが研究しているのは「インクルーシブ防

災」。インクルーシブ防災とは、障害者や高齢者等の配慮が必要な方を含む、あらゆる人達を取り残さない防災のことです。

今回のテーマは「防災食体験とカードゲーム形式のクロスロード」。普通のカップラーメンに備蓄用の水を入れて作ります。20分待つと完成しました。水を使って代用できることを学びました。

クロスロードは、防災の問題に、YES、NOと書かれた2枚のカードのうち1枚

を選択。選んだ理由を参加者で話し合うことで、防災への理解を深め、さまざまな立場や考え方を知ることができます。

「帰宅途中の駅で地震が発生しました。最寄りの避難所に逃げますか？」

YESの避難所に逃げることを選択した生徒からは「駅で物が落ちてきたら危ないから」という意見。NOを選んだ生徒は「駅にいれば、家族が探しに来る。避難所の方が家族とはぐれる可能性がある

から」と答え、意見が分かれました。

辻岡さんは「防災のさまざまな課題は、状況によって異なるため、自分で考えて他の人の意見も参考にして考えを深めてほしい」と生徒たちに語りかけました。

生徒からは「災害時に自分で考えて行動することの大切さが良く分かった」と感想がありました。災害を具体的にイメージして、防災につながる行動をとることの重要性を学びました。

# 一輪車講習会、難しい技に挑戦

## 静岡・熱海市立初島小中、広島・安芸高田市立川根小

財団のへき地学校向けソフト事業、一輪車講習会が8月、2校で開かれました。

1校目は、8月28日に実施した静岡県の熱海市立初島小中学校(関口直校長)。初島は、伊豆半島相模湾にあり、縄文時代の遺跡も残る歴史のある島で、首都圏から最も近い離島として知られています。

講師は、日本一輪車協会の公認インストラクターの佐藤彩香さんと、全日本一輪車競技大会演技部門ソロ演技



で優勝したこともある山本夏夢さん。

児童生徒数は10人ですが、この日は6人が参加しました。午前10時50分から、児童らが体

育館に集合。準備体操をしたあと、子どもたちは2つのグループに分かれました。個人に合わせてアドバイスがあり、難しい技にチャレンジして成功した時には、大きな歓声が沸きました。

講師の山本さんは「上手くなるポイントは3つあります。まず下を向かず、正しい姿勢で練習してください。それと、視線は遠くを見て。最後に、一輪車のペダルは足を真っ直ぐ載せるように踏んでください」とアドバイスしていました。

2校目は、8月31日に実施した、広島県安芸高田市の市立川根小学校(正田政則校長、児童9人)。

島根県との県境に近い同校は、児童数減少に伴う統廃合で来春に閉校となります。最後となる運動会で家族や地域の人たちに感謝の気持ちを伝えたいと、9人全員が一輪車の練習を重ねてきました。

講師は初島小中と同じく、佐藤さんと山本さんです。

「やったあ」「できたっ」「見て見て」

家族も応援に駆けつける中、緑に囲まれた校庭に歓声が響きました。

みんなで手をつないだまま走行するグループ演技は、何度も失敗しながらも最後は成功。見守っていたご家族からも大きな拍手が送られました。

最後に、講師と一緒に校舎前で記念撮影。スピンの指導を受けた5年生の小野真由奈さんは「背中をピンとするように教えられて、いつもより軽く長く回ることができました」と話していました。



# 東日本大震災支援対象校リスト

## 岩手・宮城・福島計110校

### 岩手県・小学校(29校)

▽宮古市 鍛ヶ崎小、津軽石小、重茂小、崎山小、田老第一小▽大船渡市 盛小、大船渡小、末崎小、赤崎小、猪川小、立根小、大船渡北小、綾里小、越喜来小▽陸前高田市 高田小、気仙小、広田小、小友小、米崎小、矢作小、竹駒小、横田小▽釜石市 釜石小、唐丹小、鶴住居小▽大槌町 大槌学園▽山田町 山田小、船越小▽岩泉町 小本小

### 岩手県・中学校(22校)

▽宮古市 第一中、第二中、河南中、津軽石中、重茂中、田老第一中▽大船渡市 第一中、大船渡中、末崎中、東朋中▽陸前高田市 高田第一中、高田東中▽釜石市 釜石中、大平中、唐丹中、釜石東中▽大槌町 大槌学園、吉里吉里中▽山田町 山田中▽岩泉町 小本中▽田野畑村 田野畑中▽野田村 野田中

### 宮城県・小学校(10校)

▽石巻市 北村小、和瀨小、中津山第二小、桃生小▽気仙沼市 気仙沼小、松岩小、階上小、津谷小▽女川町 女川小▽南三陸町 志津川小

### 宮城県・中学校(28校)

▽石巻市 石巻中、住吉中、湊中、蛇田中、稲井中、山下中、青葉中、万石浦中、河北中、雄勝中、牡鹿中、桃生中▽気仙沼市 気仙沼中、条南中、鹿折中、新月中、松岩中、面瀬中、階上中、唐桑中、津谷中、大谷中▽東松島市 矢本第一中、矢本第二中、鳴瀬未来中▽女川町 女川中▽南三陸町 志津川中、歌津中

### 福島県・小学校(10校)

▽南相馬市 小高小▽広野町 広野小▽楡葉町 楡葉小▽富岡町 富岡小▽川内村 川内小 中学園▽大熊町 学び舎ゆめの森▽双葉町 双葉北小▽双葉南小▽浪江町 なみえ創成小▽葛尾村 葛尾小▽飯館村 いいたて希望の里学園

### 福島県・中学校(11校)

▽いわき市 豊間中▽川俣町 山木屋中▽広野町 広野中▽楡葉町 楡葉中▽富岡町 富岡中▽川内村 川内小 中学園▽大熊町 学び舎ゆめの森▽双葉町 双葉中▽浪江町 なみえ創成中▽葛尾村 葛尾中▽飯館村 いいたて希望の里学園

# 「ちょいボラ活動」の一環として

## ナックが財団にマーク寄贈

株式会社ナック(本社・東京都新宿区)が、ベルマークを財団に寄贈しました。今年で15年連続になります。

9月26日に同社のIR・広報室の松田萌絵さんとクリクラ・マーケティング室の平塚勝さんが財団を訪れました。

ナックは、宅配水のクリクラ、ダスキンレンタル、住宅など暮らしに役立つ事業を展開している会社です。同社では、ふだんの生活で社会貢献をする取り組みを「ちょいボラ活動」と呼んで促しています。ベルマーク収集はその一環で、年に2回、グループ全社からマークを集めています。その活動を推進しているのが、15人で構成するCSR推進委員会。ベルマークの回収方法や活用例などを紹

介するCSR通信を、年に4回、社内用のWebサイトに掲載しています。

松田さんは「ベルマークがどのような支援につながるのかを考えた上で、切り取って集める行動に移す人が増えてほしい」と話しました。



左からIR・広報室の松田萌絵さん、クリクラ・マーケティング室の平塚勝さん、財団の山崎靖常務理事